

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより
第6号 令和2年11月18日(水)
校長 福沢 俊之
Tel (03)3831-3787



学校ホームページ
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

夜間中学の文集から

校長 福沢 俊之

先週で2学期の期末考査が終わりました。テスト前の学習も大切ですが、ここまで学習してきたことが身に付いているかを再確認し、あらためて学習内容の定着を図るためには、これからの学習こそが大切になります。

学ぶことの意味を考えると、その答えの1つを夜間中学に見ることができると思います。夜間中学とは、公立の中学校の夜間学級のことをいい、義務教育を修了できなかった人や、様々な理由から本国で義務教育を修了せずに日本で生活を始めることになった外国籍の人など、さまざまな事情のある人たちが学んでいます。最近では、不登校などの理由で中学校に十分に通うことができなかった人たちの“学び直しの場”としての役割も期待されるようになりました。全国に34校、東京にはそのうちの8校があります。学んでいる生徒の年齢は、15歳から80歳以上まで幅広いのですが、主な学校行事は私たちの中学校と同じように、運動会や文化祭、遠足や定期テストもあります。年度の終わりには、生徒全員がそれぞれの思い出を作文に書き、卒業文集を兼ねた学校全体の文集を作っているとのことです。

機会があって、ある夜間中学の文集をいただくことができました。85歳の女性の「七十年ぶりの運動会」という作文には、徒競走のときに「無理して走らない方がいいですよ。転ぶと大変ですからね。」という応援の声がかり、その声に感謝しつつも絶対に一番になりたいと走った思い出が書かれてありました。85歳になってやっと「自由の身」になったとき、これから自分は何をしたいかを考えた結果、戦争で満足にできなかった「学生生活」を試してみたいとして夜間中学に入学した女性です。「夢は八十八才の『米寿』の年に高校生になること」「そして神様がまだ私に寿命というものを下さるのなら 九十二才の春には大学生になりたい」と結ばれていました。

78歳の女性が書いた「若人に送る」という題名の作文は、「私が子供の頃は戦争で自分が何になるかなど希望が持てない時代でした」という書き出しでした。「誰に命令、強制、義務づけられたわけではなく、自分の意志で自分の為に勉強でき、こんなに贅沢な学生生活が送れ、健康で長生きしている毎日に生き甲斐を感じています。」そして、多くの仲間と学べる今が78年の人生で一番幸せ、と締めくくっています。

年齢を重ねても、人生経験を重ねても、満足に送ることができなかった中学校生活を再び経験したい、中学校で学び直したい、という方々の気持ちは、中学校生活の意味、中学校で学ぶ意味を、説得力を持って示してくれているように思います。

「電子黒板と生徒全員分のタブレットが教室に入りました。」

台東区教育委員会は「台東区教育ビジョン」および国の構想が示す教育環境の整備と活用のあり方に基づきICT教育の発展・拡充を図るために必要な環境整備をしています。先月本校に新しい電子黒板と、生徒全員分のタブレットが搬入されました。

本校では生徒にタブレットを一台ずつ配付しての授業を試験的に行っています。また、先日1学年ではweb会議システムを用いた学年朝礼を行いました。学校のホームページのブログでも紹介しています。

<ブログの内容>

「本日の1学年は、リモート学年朝礼を行いました。学年主任と学級委員の話を各クラスのテレビにリアルタイムで中継しました。生徒のみなさんは真剣に話を聞いていました。これからさまざまな機会に活用できそうです。」

本校ではICT担当の先生方を中心に積極的に授業での活用に取り組んでいます。これからの新しい授業での活用によってより効果的な学力の定着が期待できます。



「台東区立学校園版感染症予防ガイドライン」が改訂されました。

台東区学校園版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)が改訂されました。今回で第4版となるガイドラインは「台東区のホームページ」および、「御徒町台東中学校」のホームページにもアップされています。内容は地域の感染状況を踏まえ、学習内容や活動内容を工夫しながら可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続していく内容となっています。ぜひ、ご確認ください。

「学校選択制度アンケート(生徒)」の集計結果をお知らせします。

台東区教育委員会が毎年行う「学校選択制度アンケート」、9月25日(金)総合の時間に1年生全クラスで「生徒用」を実施し、136名が回答しました。どの設問からも考えるべきことがありますが、特に「入学して良かったか」という質問に対して、「良かった」「まあまあ良かった」と肯定的に回答している生徒が、92%に達していることは学校として嬉しいことですが、今後は全員がそう思ってもらえるように努力してまいります。



●中学校を選択する基準は何ですか(複数回答可)

1位:通学しやすい	55名
2位:周りの友人がこの中学校に通うから	52名
3位:学校のイメージ・雰囲気が良い	38名
4位:兄姉や親が通っていたから	33名

●入学して良かったと思いますか

1位:良かった	78名	2位:まあまあ良かった	47名
---------	-----	-------------	-----

●中学校情報の入手方法は何ですか(複数回答可)

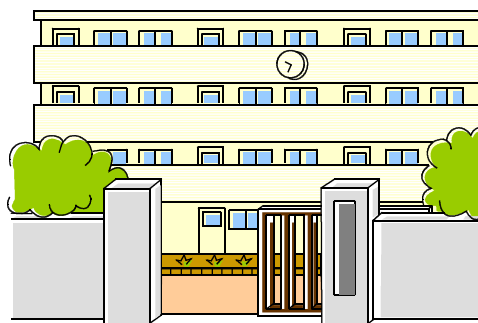
1位:家族からの情報	64名
2位:知人・友人からの情報	60名
3位:学校公開に参加	56名

●誰の意見で中学校を決めましたか

1位:親子で決めた	53名
2位:自分自身で決めた	49名

●中学校を選択できることでよかったことは何ですか(複数回答可)

1位:別の小学校出身の新しい友達ができる	126名
2位:希望する部活動に入れてよかった	61名
3位:新しい環境に切り替えができる	47名



「生徒の活躍についてお知らせします。」

- 女子バスケットボール部 区新人大会第3位
- 男子バレーボール部 区新人大会 準優勝 第5ブロック大会準優勝、都大会三回戦進出
- 女子バレーボール部 区新人大会 第3位 第5ブロック大会出場
- 男子ソフトテニス部 個人戦 優勝、第3位 団体戦 準優勝、都大会出場
- 女子ソフトテニス部 個人戦 第2位 団体戦 準優勝
- 税の標語 台東区長賞 1年 「消費税 正しく知ろう 使い道」
- 税の標語 上野間税会会長賞 2年 「知って学んで 納税しよう 日本のために」
- 税の標語 全国間税会総連合会入選 1年 「考えよう 皆を支える 消費税」
- 一茶まつり全国小中学生俳句大会
秀逸 3年 「打ち水を まくご近所の ハム工場」
入選 2年 「セミの声 吹奏楽部に 仲間入り」
入選 3年 「あの冬に 祖母がくれた 苺ジャム」
- 東京都明るい選挙啓発ポスターコンクール
台東区明るい選挙推進協議会会長賞 3年
台東区めいすい賞 3年
- 東京都水道週間作品コンクールポスター部門 (後日、都庁で表彰式があります。)
東京都知事賞 2年
水道局長賞 2年